

うるおい

第18号
2024年1月

佐渡ヶ島の鬼太鼓

「佐渡ヶ島 鬼太鼓 阿賀野市特別公演」

鬼太鼓は、五穀豊穡・家内安全などを祈りながら家々を回る神事です。世界各地で公演実績のある新穂中央青年会が、佐渡金山世界遺産登録の応援活動のため市内を巡りました。



新年のご挨拶

新年を迎え、皆様方はいかがお過ごしでしょうか。昨年は新型コロナウイルス感染症に伴う社会生活の制限がなくなり、社会の活性化が一気に進みましたが、インフルエンザの流行拡大も伴って、感染への注意は今後必要です。当院でも入院患者の皆様方の健康を守るため、基本的な感染予防策は今後も継続していきますので、ご来院の皆様方にもご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年はウクライナ問題に加えてイスラエル・パレスチナ問題が深刻化しました。世界平和の危機、社会不安と相まって、記録的な円安の進行、物価高、燃料費高騰などにより、日常生活の困難さが増しており、今年も改善の見通しはありません。病院運営にも大きな打撃になっていますが、困難な状況下でも医療サービスの向上に努め、より良い医療を提供できるよう日々努力しています。

こんな中、今年の秋に当院は開設50周年を迎えます。これ

に合わせて老朽化した病院の改修工事を行っていますが、新管理棟は昨夏に竣工し、現在は外来、検査科、放射線科等の改修工事を順次進めています。診療機能を維持しながらの工事のため、工事期間は長期に渡り、病院をご利用になる皆様方に、多大なご不便をおかけしておりますこととお詫び申し上げます。

今年は辰年です。辰は十二支の中で、唯一架空の動物で龍を意味します。天を駆け巡る勇壮な龍の力で、社会に渦巻く暗雲が蹴散らされ、社会の活性化が進んで発展の年となることを切に祈りたいと思います。



脳神経センター阿賀野病院
院長 近藤 浩



副院長 青木 賢樹

パーキンソン病の新しい治療法 (ヴィアレブ®)について

パーキンソン病は、1817年にイギリスの医師ジェームス・パーキンソンの著書に初めて記載されました。その後1913年にレビー小体が発見され、脳幹にある黒質という部位のドーパミン神経が減少している事が病的に明らかになりました。ドーパミン神経は我々が運動をするのに非常に大事な神経群です。

現在の治療と仕組み

1961年にレボドパを静脈注射すると抗パーキンソン病の効果が認められ、1967年には大量の経口のレボドパによる治療効果も確かめられました。レボドパ自体は、タンパク質の一つであるチロシンに似た構造の物質であるため、吸収は小腸上部でしか行われず、タンパク質を吸収する輸送体(L型中性アミノ酸トランスポーター)を共有しています。また、吸収後は必要以上に脳に取り込まれないよう、分解酵素(脱炭酸酵素)によって制御されているため、通常では脳内へ1~3%程度しか入らないようにコントロールされています。その後、分解酵素を阻害する薬を追加して、ようやく10%程度が脳内に取り込まれるようになりました。レボドパの出現で、パーキンソン病は完治するとまで考えられましたが、薬の効き目(半減期)が約1時間30分程度と短い事や、日内変動を示すウェアリングオフという現象(効果が出現したり切れたりする)や、オン オフ(内服したときに効果が出たり出なかったり)、有名な不随意運動であるジスキネジア(クネクネと奇妙な動き)が出現する事が、徐々に長期使用によって明らかになってきました(図1)。薬を内服する方法では、どうしても薬の血中濃度が上昇してその後切れていく事が当たり前であり、それに伴い薬が効き過ぎて、体が動きすぎたり、薬の濃度が減少すると急に動けなくなったりしていました。そこで運動を持続

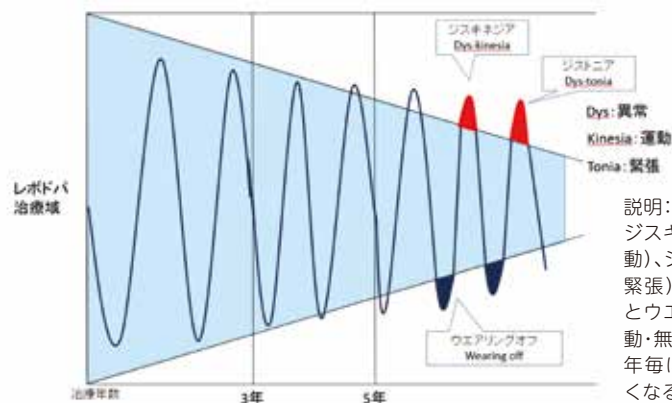
させるためには、必要なドーパミンを常に与えて、ドーパミン神経を常に刺激しておく必要があるという概念(CDS)が生まれてきました。これは、レボドパを至適治療域内の量で持続して投与することが望まれます。現在、色々あるパーキンソン病の治療薬で一番効果があるのはやはりレボドパであり、海外ではレボドパの徐放製剤(成分の放出を調整する製剤)なども発売されましたが、日本では発売されていませんでした。2016年に胃ろうから小腸までチューブを入れて、持続的にレボドパを注入する機械(LCIG)が出現しましたが、胃に穴を開ける内視鏡手術が必要であり、なかなか敷居が高くなっています。

新しい治療法

2023年7月に皮下に薬(ホスレボドパ)を持続的に注入する方法で、24時間小さな機械で薬を入れ続ける新しい治療法(ヴィアレブ®)ができました(図2)。理論的には理想的な投与方法であり、大きな期待が持たれています。この治療の適応患者は、レボドパ含有製剤を含む既存の薬物治療で十分な効果が得られないパーキンソン病症状の日内変動の改善を要する人たちです。副作用には、運動症状としてジスキネジア、精神症状として幻覚、妄想、注射部位の皮膚症状(発赤や炎症)、皮膚感染症などが挙げられます。残念ながら費用は安くなく、内服薬の約100倍程度になります。また、この薬剤に過敏症の人や閉塞性緑内障の人は禁忌になっているので注意が必要です。

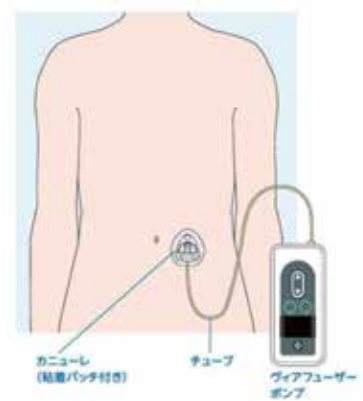
この治療法が、すべてのパーキンソン病の方々の福音とならん事を祈念して文章を終えたいと思います。身近では私の医学部の同級生(医師)や、高校の同級生でもパーキンソン病に罹患された方がいるので、この治療法が一助となればと願っています。

図1:レボドパの治療域の考え方



説明:レボドパが多いとジスキネジア(不随意運動)、ジストニア(異常筋緊張)が出現し、少ないとウェアリングオフ(暴動・無動)になる。また経年毎にその治療域が狭くなる。

図2:ヴィアレブ®の模式図



中央社会保健医療協議会総会 (第544回) 資料より参照

参考文献: #1 Przedborski S: The two-century journey of Parkinson disease research. Nat Rev, 18: 251-9, 2018

図1: <http://www.myojin-kan.jp/pa-kin/> 図2: https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500_00185.html

今回のヴィアレブ®については、<https://vyalev.jp/about/>を参照

難病看護師の紹介

難病看護師とは、日本難病看護学会が認定する資格です。専門的知識を有し、難病患者への直接的ケアだけでなく、ご家族と保健医療福祉を繋ぐ事ができる看護師のことをいいます。



第2病棟 師長

伊藤 亜希子

私は、2022年に神経難病専門看護師の資格を取得しました。きっかけは上司の勧めでしたが、ちょうど子育てが落ち着き、自分の時間が少しとれるようになった頃で、自身の看護人生を振り返ったことでした。

私の目の前にいらっしゃる数名の患者様は、15年前は身の回りの事がどうにか自分で出来ていたのですが、今では、意思の疎通も困難な状態となり、日中のほとんどの時間をベッドで過ごされています。私は、この患者様の笑顔や出来事を思い返し、今日に至るまで「何ができたのだろうか、支えになる

ことができたのだろうか」「もっと、何かできたのではないか」という思いに駆られました。

より良いケアを目指せば、出来ることはまだまだたくさんあったはずですが、患者様の一番近い存在となる看護師によって、療養生活が左右されると言っても過言ではないと思います。難病をより深く理解する事で、患者様やそのご家族にとって、その人らしいより良い療養生活が送れるよう支えることができると思い資格を取りました。

資格取得後は、視野が広がり物事を多角的に捉えることができるようになったと思います。また、患者様の生き方、思いに寄り添い意思決定を支え、先を見据えた看護を実践していきたいと思っています。

在宅介護ワンポイントアドバイス ～褥瘡予防編～

褥瘡対策委員会 看護師 佐藤 由美

じょくそう

褥瘡とは？

聞き慣れない言葉かもしれませんが、いわゆる「床ずれ」のことを言い、傷の状態によって軽症から重症まで分類されます。私たちは普段、同じ姿勢でいると身体が痛くなるため、寝返りを打ったり、座り直したりしますが、これらの動作は無意識に行っています。血流障害があると痛みとして感じ、動くことによって血流が改善し、褥瘡ができません。

<褥瘡の主な原因>

- ①神経・筋疾患により自分で動くことができない
- ②体の痛みで動くことができない
- ③知覚麻痺や認知力の低下
- ④痛み止め等の常用により痛みを感じにくい
- ⑤食事が十分に摂れていない
- ⑥汗が多い・失禁などで皮膚が湿っている
- ⑦浮腫(むくみ)等で皮膚が弱っている

<発生の仕組み>

長時間の皮膚の圧迫・摩擦・ズレ→皮膚組織の血行不良→褥瘡発生

<予防のポイント>

- ①日頃から皮膚状態をよく観察しましょう！
 - ・皮膚が赤くなってないか？
 - ・赤みは消えるのか？
 - ・皮がむけてないか？
 - ・以前からある傷の治りが遅くないか？
- ②身体の凹凸が包み込まれるようなパウダービーズやウレタンチップ素材のクッションで体圧を分散させる
 - ×中身が綿素材のクッションやバスタオルは次第に固くなるのでオススメしません
 - ×円座は禁物！圧迫を強めてしまいます

一度褥瘡になると、なかなか治りません。「どうすれば良いのだろうか？」と思ったら、遠慮せずに医療スタッフへ相談してください。日々の介護において負担に感じる事が少しでも減るように役立てて頂けたら幸いです。

年末年始の疲れた胃腸にオススメレシピ



鮭の養老蒸し

所要時間
40分

材料(2人分)

生鮭(切り身) …… 2切(160g)	[A]
長芋 …… 100g	卵白 …… 1個分
塩 …… 少々	塩 …… 少々
酒 …… 小さじ2	
酢水 …… 水カップ1に酢小さじ1	[B]
付け合わせ(かぶや大根などお好みの野菜)	だし(温かいもの) …… カップ1/3
きのこ …… 50g	みりん …… 大さじ1
人参 …… 25g	薄口醤油 …… 大さじ2/3
青菜 …… 10g	※無ければ、醤油小さじ1+塩少々
わさび …… 適量	

1人分の 栄養価(付け合わせ無し)	エネルギー:170kcal たんぱく質:21.4g 脂質:3.5g 炭水化物:12.9g 食物繊維:0.5g 食塩相当量:1.2g
----------------------	--

今回は、とろろを使用した鮭の養老蒸しを紹介します。
和食用語で、おろした山芋を使う料理を「養老」といいます。滋養強壮で知られる山芋は、老人の健康をも養うということで敬老関係の宴席に提供されています。
山芋には酵素が多く含まれており、胃腸の動きを促し、消化吸収を助ける効果があります。その他にも、抗酸化作用やカリウム、疲労回復に役立つビタミンB1も含まれています。また、鮭にはビタミン類やDHA、EPA、抗酸化作用のある栄養素が豊富に含まれていますので、ぜひ作ってみて下さい。

作り方

- ①鮭は調理する約15分前に冷蔵庫から出して常温に戻す。
長さを半分に切り、塩、酒をふってからめる。
- ②付け合わせのきのこ、人参、青菜は、食べやすい大きさに切る。
- ③長芋は酢水にくぐらせ、水気をきる。
長芋をすりおろし、【A】を白くなるまで泡立ててから加え、菜箸でふんわりするまでよく混ぜる。
- ④フライパンより一回り小さい耐熱の器に鮭を入れる。
皮を下にして、2切ずつ少しずらして重ねる。
②の付け合わせを加え、③を鮭の上に等分に乗せる。
- ⑤フライパンに④の器を入れ、器の外側に水を1cmの深さに注ぐ。
【B】を混ぜ合わせ、食材にかける。
- ⑥蓋をして強めの中火にかける。
煮立って蒸気が立ってきたら弱めの中火にし、約12分間蒸す。
- ⑦火を止め、そのまま2～3分間置く。
取り出して魚に火が通っていたら、わさびを添えてできあがり。

外来のご案内 脳神経内科・内科・リハビリテーション科

受付時間 午前8時45分～11時30分(休診日 土・日・祝)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
第1診察室	近藤 浩	横関 明男	青木 賢樹	近藤 浩	佐藤 達哉
第2診察室	豊島 靖子	佐藤 達哉	(近藤 浩)	豊島 靖子	青木 賢樹
リハビリ テーション 外来					工藤 由理

※()の医師については、急患対応のみとなります。 ※都合により担当医が変更になることがありますので、詳細は受付までおたずねください。 ※なお、新患で受診ご希望の方はあらかじめお電話にてご予約をお願いいたします。受診時間などを相談させていただきます。

院内レポート

昨年10月に、職場体験学習のため市内の中学校から3名の生徒さんが来られました。看護部を中心に、リハビリテーション科、検査科、放射線科で見学や体験をしました。生徒さんには看護師の制服を着てもらい、患者さんの食事の試食や車椅子・ストレッチャーの体験、配膳やお散歩のお手伝いをしていただきました。ご協力くださった患者さんは「部活は何をしているの?」などと積極的に話かけ、楽しそうにされていました。この体験学習が将来の選択の一助になればと思います。



医療法人潤生会 脳神経センター阿賀野病院 広報誌

うるおい

第18号
2024年1月

■発行日 2024年1月7日
■発行人 院長 近藤 浩 ■編集 広報誌事務局
〒959-2221 新潟県阿賀野市保田6317番地15
脳神経センター阿賀野病院
電話 0250-68-3500 FAX 0250-68-3690
URL <http://www.agano.or.jp> メール info@agano.or.jp

広報誌「うるおい」へのご意見・ご感想は
広報誌事務局までお寄せください。

広報事務局

編集後記

あけましておめでとうございます。みなさまはどんな1年にしたいですか。2024年の医療福祉業界では、診療・介護・障害福祉サービスの報酬改定、いわゆる「トリプル改定」と呼ばれる大きな転換期を迎えます。それでも、私たちは患者さまに寄り添うケアを忘れずに日々実践していきたいと思っております。

さて、今回の表紙は佐渡の鬼太鼓です。佐渡の伝統芸能を受け継ぐ「新穂中央青年会」の方々が昨年11月に来院してくれました。参加した患者さま一人ひとり頭を獅子に噛んでもらい、厄払いをして頂きました。鬼と獅子の力強い舞と体中に響き渡る太鼓のリズムに感動し、本物の伝統芸能に触れたことは、とても貴重な経験となりました。みなさまにとっても幸多い1年になることを祈っております。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。